

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

小児起立性調節障害診断・治療ガイドライン -小児心身医学会ガイドライン集 改訂第2版-

日本小児心身医学会 起立性調節障害ワーキンググループ (委員長: 田中英高 OD 低血圧クリニック田中)

南江堂、2015年7月10日 改訂第2版発行

■1 半夏白朮天麻湯、補中益気湯、小建中湯、真武湯、苓桂朮甘湯

疾患:

起立性調節障害

有効性に関する記載ないしその要約:

その他の治療法の項に、下記の記載がある。

『OD【起立性調節障害】の治療においては、上記の西洋医学に基づく治療以外にもさまざまな治療が実際の臨床現場においてなされている。それには、漢方療法、補完・代替療法と呼ばれるものが含まれ、医療機関で個別に実施されている。これらの治療によって改善する場合もあるが、明確なエビデンスが得られているとはいえない。したがって、これらの治療については、本ガイドラインによる治療を行っても改善がみられない重症例に対して、子どもや家族の希望があれば試してもよいと考えられる。この解説では、漢方療法と補完・代替療法について簡単に触れたが、今後の研究が待たれるところである。』

備考:

漢方療法の一覧表の中に、半夏白朮天麻湯、補中益気湯、小建中湯、真武湯、苓桂朮甘湯の服用法 (服用 分3、小学生 5.0g、中学生 7.5g) の記載がある。